

Mirror Smart User's Manual

取扱説明書 目次

ファームウェアのバージョン・レコード.....	i
目次.....	1
著作権と登録商標について.....	2
概略説明.....	3
概略.....	3
警告.....	3
注意.....	4
Mirror Smart の開梱.....	5
一般的な特徴.....	6
特徴.....	6
仕様.....	6
システムに必要なもの.....	6
前面図.....	7
背面図とディップスイッチ.....	7
Mirror Smart の構成設定.....	8
ディップスイッチの設定.....	8
内部ターミネータを有効にする / 無効にする: ディップスイッチ 5.....	8
SCSI ID 番号: ディップスイッチ 1,2,3,4.....	8
クイックスタート.....	9
5分でRAIDの設定をする方法.....	9
Mirror Smart IDE ハードディスクドライブ (HDD) 互換情報.....	9
モバイルラックの取り扱い/カバ - とHDDの取り付け方法.....	10
IDEディスクのインストール.....	10
Mirror Smart の前面表示.....	11
各モバイルラックの左側には.....	11
Mirror Smart の右側には.....	11
ディスク リビルド処理.....	12
警告のためのブザーとLED.....	12
警告ブザーの停止.....	12
トラブルシュー - ト.....	13
もう一步踏み込んだトラブルシュー - ト.....	14
付録1 Mirror Smart IDE HDDの互換リスト.....	15
付録2 Mirror Smart SCSI コントローラ互換リスト.....	15
付録3 Mirror Smart ユ - ティリティ.....	16
付録4 テクニカルサポートフォーム.....	22
マニュアル・レビジョン・レコード.....	23

著作権と登録商標について

- 1 . このマニュアルに掲載の内容および本製品の内容は、改良のために予告なく変更されます。
- 2 . このマニュアルに誤り、記載漏れがあり、この結果生じた一切の責任は負いかねますのでご了承下さい。
- 3 . このマニュアルおよび本製品の一部または全部を無断で複製、転写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 4 . 内容に関するご質問は、弊社もしくは各代理店までお問い合わせ下さい。
- 5 . このマニュアルは、メ - カの許可を得てコントロール・ウエア社が翻訳・作成したものです。

IBMはInternational Business Machine Corporation.の商標です。

Microsoft と Windows のロゴは商標登録で、Windows は Microsoft Corporationの商標です。

会社名および製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

概略説明

概 略

この Mirror Smart ウルトラ・ワイド SCSI レイド1 サブシステムは、二台のIDEのHDDをミラ - リングし、1台のHDDが故障してもシステムが停止することなく動作します。

このミラ - サブシステムは、ホストからは1台のSCSI HDDとして認識されます。

マイクロ - コントローラコアチップを組み込んだこのサブシステムの性能は、さまざまなアプリケーション用に高い安定性能と、多用途に適合する自在性をもっています。

警 告

- ◆ 7D24H ノンストップの稼働もしくは高性能が要求されるアプリケーションのために、最新のHDDを3台（予備として1台）しかも同じメーカーの同じモデルを2～3年先まで考えてご用意いただくようお願いいたします。
- ◆ 2台のHDDの容量がまったく同じなら、Mirror Smartは上側HDDの容量の情報を用います。
- ◆ 2台のHDDの容量が異なった場合、Mirror Smartは初めにインストールした時の小さい方の容量をずっと用います。
例：初めのHDDが8GBと10GBで、このHDDが交互に壊れて40GBと60GBになったとしても、ミラ - のHDDの容量は8GBのままです。
- ◆ 通常の処理では、両方のHDDはほとんど同時に動作し、デ - タの書き込みは交互に行われます。この場合、どちらかのHDDがMirror Smartから引き抜かれ（ホットプラグアウト）しかもホストPCがシャットダウンやリブ - トがされなければ、正常な動作を中断することなく続きます。
- ◆ リビルド（再構築）を行っている間(Rebuild:リビルドのLEDがオン)、コピ - 元のドライブ（以下ソースドライブ）を抜いてはいけませんが、コピ - 先のドライブ（以下デスティネ - ションドライブ）（ハ - ドドライブエラー / 異常LEDがオン）は抜いてもかまいません。
- ◆ リビルド（再構築）が終了したら、Mirror Smartは長音のビ - プ音をならします。
- ◆ ホットスワップ（リビルド）が進行中は絶対に電源を切らないで下さい。
このためには、UPS(Uninterruptible Power Supply) の導入を特にお勧めいたします。
- ◆ HDDのホットスワップとバックグラウンドでのリビルド処理は、ホストPCの負荷を軽減します。HDDへの読み / 書きは中断のない様に行われます。

注 意

デ - タのバックアップについて：

2台のうちのどちらかのIDEドライブを使用する時、事前に書き込まれたデ - タが大切なデ - タの場合は、Mirror Smartに組み込んで作業する際に、誤った操作で上書きされたり消したりされるおそれがありますので、必ずバックアップをとってから作業を行って下さい。

ケ - ブルの接続：

この Mirror Smartをホストに接続する前に、背面のIDE（2台のモバイルラック用）とSCSI（ホストポ - ト）コネクタを確認して下さい。

SCSI ポ - ト：背面にある68ピンコネクタはホストを接続するSCSIポ - トです。

注意）弊社のREVISION：REV.Aより前のMirror SmartのSCSI内部ケ - ブルは、Ultra160に対応しておりませんので、AEC-67160などのホストアダプタでご使用の時はエラー - が発生いたします。

この場合、内部ケ - ブルをU160対応のものに交換が必要です。

IDE ポ - ト：各モバイルラック内の40 / 80ピンケーブルはHDDに接続用EIDEリボンケーブルです。

トレイ取っ手自動跳ね上げ機能：

どちらかのHDDが不良になったら、その不良HDDのトレイの取っ手が2012によって自動で跳ね上げられ、そのドライブに対応した赤いLEDが点灯します。

さらに、不良ドライブの検出によって約 10 秒間アラ - ムが鳴りますので、この 10 秒後に不良ドライブを交換して下さいマイクロ - コントローラコアチップを組み込んだこのサブシステムの性能は、さまざまなアプリケ - ション用に高い安定性能と、多用途に適合する自在性をもっています

Mirror Smart の開梱

Mirror Smart の箱を開け、衝撃を与えないよう取り出して下さい。
箱の内容を確認して下さい。以下のものが同梱されているはずですが。
もし、商品に不足や壊れているものがありましたら、ただちに販売店へご連絡下さい。

Mirror Smart 本体
モバイルラック 1 (上側のベイ用)
モバイルラック 2 (下側のベイ用)
ネジ
ユ - ザ - マニュアル
CD-ROM



Mirror Smart 外付用

一般的な特徴

特 徴

- ◆ Mirror Smart はレイドレベル 1 (ミラ - リング) で、2 台の IDE の HDD に同時にデ - タを書き込み、ホストからは SCSI の単体 HDD として認識されます。
- ◆ オペレ - ティングシステムに依存せず、特別なドライバ - も不要です。
- ◆ HDD が故障すると、キャニスタ - の取っ手が自動ではね上がります。
- ◆ HDD のホットスワップが可能
- ◆ キャニスタ - の LED 表示で HDD のアクセスや異常を知ることができます。
- ◆ HDD の不良を知らせるブザ - が内蔵され、スイッチでオフにできます。
- ◆ CPU への負荷が低い
- ◆ 対コスト効果が非常に良い
- ◆ アルミニウムとスチ - ルのキャビネットは、放熱効果が大きくなるよう設計されています。
- ◆ DC 電源は +5V と+12V が必要
- ◆ MTBF は 250,000 時間以上

仕 様

サイズ(奥行×巾×高さ)	235mm × 145mm × 85mm (5.25" ベイ 2 つ分のスベ - ス)
重さ(HDD なし)	約 1.5Kg
温度(動作可能温度 / 非動作時)	0 ~ 45 / -20 ~ 70
湿度	-15% ~ 90%
材質	アルミニウムと鉄がベ - スのカバ - ABS 樹脂の前面パネル

システムに必要なもの

IBM PC もしくは互換品(ペンティアム , , またはペンティアム MMX/ペンティアム互換品)

ホストインタ - フェ - ス : 標準ウルトラワイド SCSI もしくはそれ以上

(ウルトラ 2 かウルトラ 160 で下位互換)

ハ - ドディスクインタ - フェ - ス : 標準の EIDE UMA 133/100/66/33 ドライブ

サポートされている O.S. : Windows 2000/NT, XP/ME/98/95/3.1x, NetWare 3.1x/4.1x/5.x,
SCO UNIX, Linux(RedHat, Slackware, Debian, S.u.S.E., OPEN, Turbo),
Free BSD, IBM OS/2 , MAC, Microstation, SGI, HP Openview とその他、
標準の SCSI をサポ - トしているほとんどの O.S. に対応します。
また、すべて特別なドライバ - を必要としません。



Mirror Smart 前面図



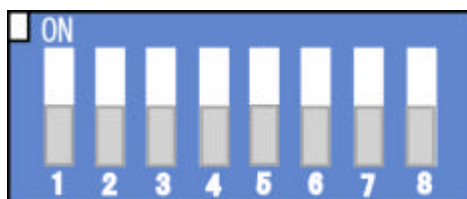
Mirror Smart 背面図とディップスイッチ

Mirror Smart の構成設定

ディップスイッチの設定(2012 背面のディップスイッチの設定)

Mirror Smart の背面にあるディップスイッチによって、SCSI ID 番号を正しい値に設定して下さい。組み込み（内蔵）のアクティブタ - ミネ - タを有効にするか無効にするかの設定も行って下さい。

ID やターミネータの設定を誤りますと正しく認識されないことがあります。



注意：ディップスイッチ：6 は未使用

内部ターミネータを有効にする / 無効にする (外部ターミネータを使用) :5

ディップスイッチ 5 をオン：内部タ - ミネ - タを有効にします。

ディップスイッチ 5 をオフ：内部タ - ミネ - タを無効にしますので、外部タ - ミネ - タが必要になります。

通常 SCSI をデージー接続し、その最終端の装置として使用する場合や 1 台のみの接続の場合は、タ - ミネ - タをオンにしてご使用下さい。もし、Mirror Smart がその SCSI バスの中間にデージー - 接続されていたら、オフ（無効）に設定して下さい。

出荷時の初期設定はオン / 有効です。

SCSI ID 番号：スイッチ 1，2，3，4

1 をオン —— SCSI ID 1
 2 をオン —— SCSI ID 2
 3 をオン —— SCSI ID 4
 4 をオン —— SCSI ID 8

ID 番号	スイッチ			
	1	2	3	4
0: オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
1: オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
2: オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
3: オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
4: オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
5: オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
6: オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
7: オフ	オフ	オフ	オフ	オフ (ホストアダプタが使用)
8: オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
9: オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
10: オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
11: オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
12: オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
13: オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
14: オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
15: オフ	オフ	オフ	オフ	オフ

ID=7 は使用できません。

出荷時の初期設定はすべてオフ(SCSI ID=0)です。

クイックスタート

5分でレイドの設定をする方法

- (1) Mirror Smart から 2 台のモバイルを取り出し、カバ - を外します。
- (2) それぞれに入れる 2 台の IDE ドライブを用意して下さい。両方とも MASTER 、STANDALONE にジャンパ - を設定して下さい。
- (3) 1 台目のドライブをラックにいれ、電源ケ - ブルとシグナルケ - ブルをしっかりと差し込んで下さい。
- (4) モバイルラックのカバ - を戻します。
- (5) 2 台目のドライブも同様に行います。
- (6) トレイの取っ手がしっかりと閉じているか確認して下さい。
- (7) Mirror Smart の SCSI ID を正しく設定して下さい。(出荷時の設定 SCSI ID は 0)
- (8) 出荷時のタ - ミネ - タは有効(内部に組み込みのものを使用する)です。Mirror Smart が接続されている最終端か 1 台のみか確認して下さい。もし、そうでなければディップスイッチ No.5 をオフ(内部タ - ミネ - タを使用しない)にして下さい。
- (9) Mirror Smart に電源コ - ドをつないで下さい。
- (10) ホストからの SCSI ケ - ブルを RAID の SCSI ポ - トに接続して下さい。
- (11) ホストの電源をオンにして下さい。

ブ - トアップ時(後)に、ホストから Mirror Smart が新しいハ - ドディスクとして認識されたはずですが、フォーマットしてからご使用下さい。このサブシステムは、高いパフォーマンス、フォルトトレ - ラント性能、大きな容量の二重化されたドライブとしてご使用いただけます。

Mirror Smart に使用可能な IDE ハードディスク

Mirror Smart は以下の IDE DMA33/66/100 ハ - ドディスクをサポートしています。

IBM HDD

MAXTOR HDD

QUANTUM HDD

SEAGATE HDD

Fujitsu HDD

WESTERN DIGITAL HDD

詳しくは後頁の付録 1 をご参照下さい。

モバイルラックの取扱い / カバーと HDD の取付方法

IDE ディスクのインストール

- ◆ Mirror Smart の電源がオフになっているか確認してから、ラックの取っ手をフックなどを使って引き出して下さい。
- ◆ 取っ手を持ってトレイを Mirror Smart から引き出して下さい。
- ◆ カバ - を取り外すには、“ここを押して開ける”という表示がありますので、押して下さい。
- ◆ カバ - が少し跳ね上がりますので、取り外して下さい。

注意：このラックの取っ手は、ドライブの電源をオン / オフをコントロールするようになっています。ドライブの不良によりアラ - ムが鳴った時以外、システムの動作中に取っ手を引っ張って開けないようにして下さい。



Mirror Smart トレイ

Mirror Smart 前面表示

各モバイルラックの左側には

ディスク電源LED：点灯時、通電中でドライブは使用可能状態

ディスクアクセスLED：このLEDが点灯時、Mirror Smartがドライブに対して読み/書きを行っている状態を示します。

ディスクエラーLED：このLEDの点灯は、ドライブの不良もしくはドライブに不良セクタが複数発生したことを表します。

ファン故障LED：モバイルラック内のファンが故障したら、このLEDが点灯します。

などのLEDがあります。

Mirror Smart の右側には

システム電源LED：Mirror Smartに電源が供給されている時、このLEDが点灯します。

ディスクリビルドLED：Mirror Smartに新しいドライブが入れられたら、Mirror Smartは自動でその容量を調べ、新しいドライブの容量がすでにあるドライブ（ソ - ス）と同じか、それ以上であったら再構築のためデータを新しいドライブに自動的にコピーしてミラーとします。

この処理をリビルド（再構築）といい、LEDはリビルドの処理が終了するまで点灯したままになります。このLEDが点灯中は絶対にソ - スディスク（コピー元）を引き抜かないで下さい。

アラームリセットボタン：このボタンを押すとアラームを止めることができます。

注意：ハードウェアのインストールが終わったら、モバイルラックの取っ手は必ず戻した状態にして下さい。もし、引き上げた状態で電源を上げたら、ディスクの故障としてアラームが鳴ります。



Mirror Smart 前面の外観

ディスクリビルド処理

ドライブが通常に使用中に故障した時: モバイルラックのディスクエラー - の LED 点灯とアラ - ム音が約 10 秒間働きます。その後、ディスクエラー - LED は点灯し続け、ラックの取っ手が自動で跳ね上げられます。このディスクは新しいドライブと交換の必要があります。 ここでこの取っ手を引き、ドライブを新しいものと交換して下さい。 交換されると、Mirror Smart によってドライブがチェックされ、リビルドが自動的に開始されます。その他、以下に取り扱う上において、参考になる事柄を記述しておきます。

- ◆ モバイルラックに新しいドライブをいれて、そのモバイルラックを Mirror Smart に入れたら、レイドコントロ - ラは自動的にそのドライブをチェックします。この時、両方のモバイルラック電源 LED、キャビネット前面のシステム電源 LED の両方共点灯し、交換した新しいモバイルラックのディスク電源 LED が点灯していれば、このドライブがレイドコントロ - ラによってチェック中です。
- ◆ ドライブのチェックが終了した後も 3 個の電源の LED はオンのままで、新しいドライブのディスクエラー - LED もやはりオンのままですが、これは自動的にリビルドが開始されているからです。
ドライブのリビルド中、両モバイルラックのディスクアクセス LED が点灯し、前面のディスクリビルド LED がリビルド終了まで点灯し続けます。
このリビルドが終了するとディスクエラー - LED とディスクリビルド LED が消えます。

警告のためのブザーと各 LED

ドライブのメディアに不良セクタを検出：

もし、復旧不可能な複数の不良セクタを検出したら、Mirror Smart は 8 秒ずつ 2 度警告音を発すると同時にディスクエラー - LED も同期して点灯します。

この状況は以下の 2 つの場合が考えられます。

- 1 . 使用中のドライブに致命的なエラー - (不良セクタ、ヘッドクラッシュの検出) が発生したため、Mirror Smart は 1 台のドライブのみで動作をします。
- 2 . ドライブのリビルド中にソ - スドライブ (コピ - 元) に複数の不良セクタを検出した。このリビルドは停止することなく、最後まで行われますが、このリビルドの終了後、不良セクタが検出されたドライブは速やかに、新しいドライブと交換することをお勧めいたします。

ファンの故障：

もしファンが故障したら、Mirror Smart は 1 秒間隔で警告音を鳴らすと同時に、ファンの LED も点灯します。

警告ブザーの停止

アラ - ムリセットボタンを 1 秒間押すと、警告音を停止できます。

トラブルシューティング

もし Mirror Smart が動作不良の場合、以下の簡単なトラブル解決の手段を講じてみて下さい。

1. 電源のチェック

電源スイッチをオン / オフして装置に何らかの変化があるか試して下さい。

2. IDE のドライブを確認

Mirror Smart で IDE ドライブを使用される場合、ドライブのジャンパーは常に、
" Master/ Standalone " のモードにして下さい。

3. ホストアダプタのチェック

ホストアダプタカードが、マザーボードのスロットにきちっと差し込まれているか確認して下さい。

4. 全部のコネクタとケーブルのチェック

電源のコネクタ、SCSI コネクタ、IDE コネクタ、装置の電源コネクタおよびリボンケーブルが正しく接続されているかチェックして下さい。接続時にリボンケーブルのコネクタは、取り付けを慎重に行わないとピンを折曲げたりして、簡単に破損しますのでご注意ください。

コネクタの向きが逆に接続されていないか、別のケーブルで試した場合はどうかなどもチェックして下さい。

5. ディップスイッチの設定を確認

ディップスイッチの設定の項でもう一度正しく設定されているか再確認して下さい。

6. SCSI ID 番号を重複して設定

もし複数の SCSI 機器を接続して使用している場合、各機器の ID が重複して設定されていないか、すべての機器を再確認して下さい。

7. 品質不良の SCSI ケーブルによるトラブル

68 ピン UW - SCSI ケーブルの品質に問題が無いか確認するか、新しいケーブルを購入して下さい。

もう一步踏み込んだトラブルシューティング

さてこれから、実際にホスト SCSI カードに Mirror Smart を接続する例を使って、ソフトウェアによる正しいトラブルシューティングの方法を記述いたします。この例では、SCSI カードの ID を “ 0 ” に設定します。

Windows 2000 システムでは

1 . ホスト SCSI アダプタカードを確認して下さい。

ホスト SCSI カードをインストールするには、SCSI アダプタ名が正しいかどうか、デバイスリストからデバイス名をチェックして下さい。

その方法は、

ステップ 1 . “マイコンピュータ”をダブルクリックします。そして “コントロールパネル”に入ります。

ステップ 2 . “システム”をダブルクリックします。

ステップ 3 . “システムプロパティ”のなかの “ハードウェア”を選択し、次に “デバイスマネージャ” をクリックします。

ステップ 4 . “SCSI と レイドコントローラ” のなかで “ホスト SCSI カード PCI ウルトラ / ワイド SCSI コントローラ” をダブルクリックします。これで接続したホスト SCSI カード が正しいかどうかチェックします。

2 . IDE デバイスの確認

もし、ホスト SCSI カードと一緒にインストールする IDE ドライブ名が “Device Manager” 上に見つかったら、ホスト SCSI カード は正しくインストールされています。

もし、デバイス名が見つからなかったが、代わりに “Mirror Smart-No ” というデバイスが見つかったら、ホスト SCSI カード の内部 IDE コネクタをチェックして下さい。これは、コネクタの接続が悪いか、IDE の装置が不良の場合に生じます。

以下に IDE 装置をどのようにチェックするのかを示します。

ステップ 1 . ドライブを表示する為 “Disk drives ” をクリックします。

ステップ 2 . Mirror Smart が正しく動作しているか見るには、 “Device Status ” をチェックするための “General” を選択するために “Accordance ARAID 7.9G SCSI Disk Device ” をダブルクリックして下さい。

付録 1 Mirror Smart IDE HDD 互換リスト

- ◆ IBM
DTLA シリ - ズ、 DPTA シリ - ズ、 DTTA シリ - ズ、 DJNA シリ - ズ
- ◆ Maxtor
54098U8, 52049U4, 91366U4, 94098U8, 91020U3, 98196H8
- ◆ Western Digital
Expert 13BA, Caviar AC14300, WD 300BB
- ◆ Seagate
Barracuda IDE シリ - ズ
Barracuda ATA II 100 シリ - ズ
ST320430A, ST313620A, ST3240AT,
ST38422A, ST36531A
- ◆ Quantum
FireBall LM シリ - ズ、 LC シリ - ズ、 LB シリ - ズ、 LD シリ - ズ
FireBall KX シリ - ズ、 KA シリ - ズ
FireBall CX シリ - ズ、 CR シリ - ズ、 EX シリ - ズ
FireBall EL シリ - ズ
- ◆ Fujitsu
MPF-3204AT, MPD-3173AT, MPD-3084AT

最新、詳しくは www.workmanship.com. でご確認下さい。

付録 2 Mirror Smart SCSI コントローラ互換リスト

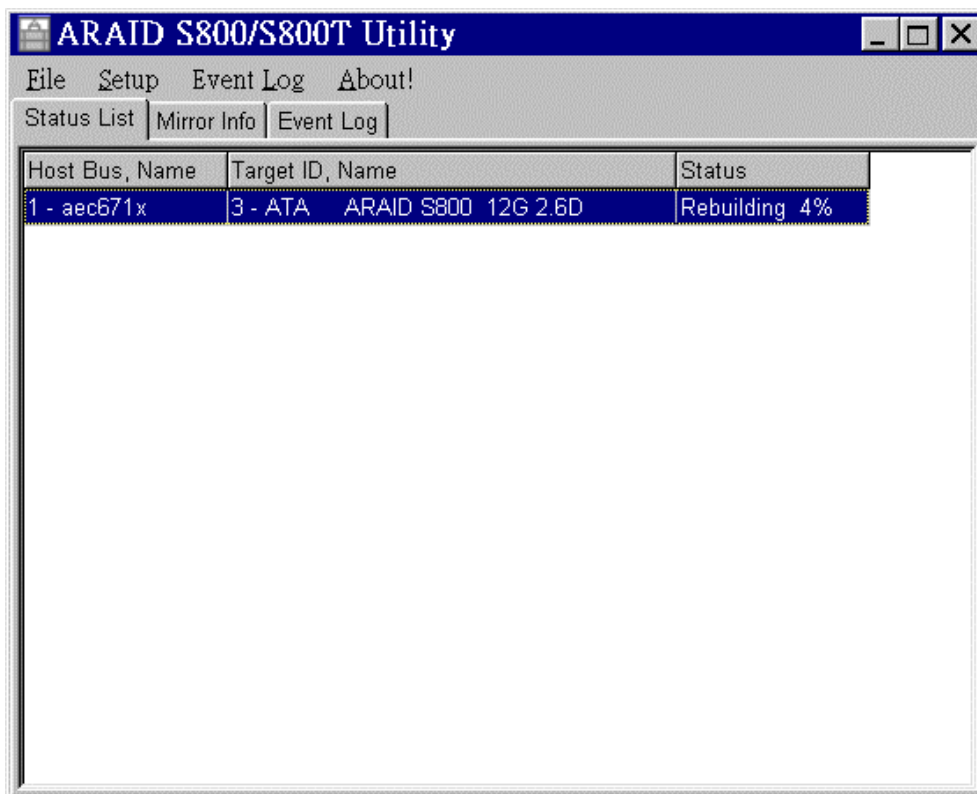
Adaptec ASC 29160
Adaptec AHA 2940UW
Adaptec AHA 2940U2W
Initio 9100UW
Tekram DC -390U2W(53C895)
Tekram 390UF LSI Symbios 53C875 Ultra Wide SCSI コントロ - ラ

Accordance が推奨しているホスト SCSI カードは以上ですが、詳しくはカスタマ - サ - ビス部にご相談下さい。

付録3 Mirror Smart ユ - ティリティ

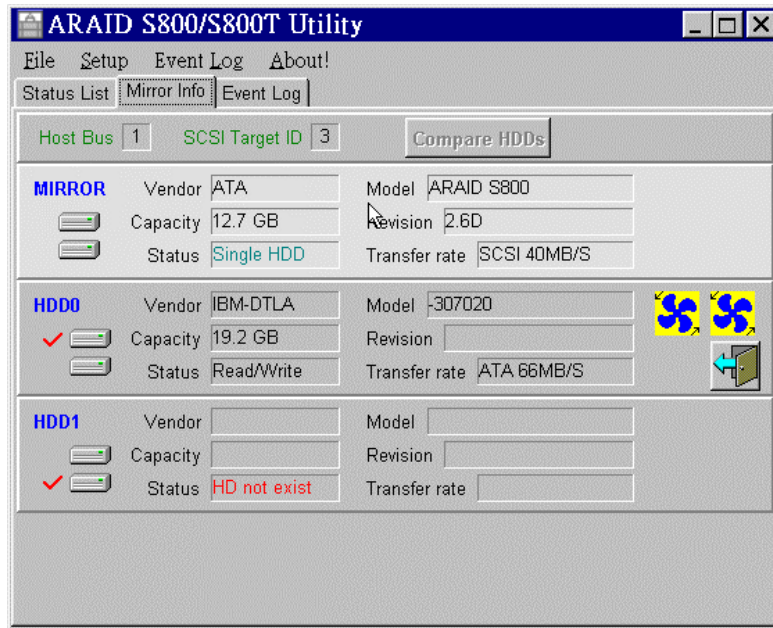
- ◆ このユ - ティリティはマルチカ - ドとマルチデバイスをサポ - ト :
1つのプログラムで複数の Mirror Smart 装置をモニタ - できます。(最大 32 台)
- ◆ 完成された機能 :
完全なるファ - ムウェアの更新、Mirror Smart の設定およびミラ - サイズの変更
- ◆ イベントログ :
このユ - ティリティを使用すれば、Mirror Smart に何が発生しているかが見られます。
- ◆ エラ - の警告 :
エラ - が発生した時、このプログラムはメッセ - ジウインドウをポップアップしてどのようなエラ - が生じたかを表示します。
- ◆ 使用する人の選択の自由 :
各ユ - ザは自分のプログラムの動きをセ - プできます。
- ◆ ソフトウェアによるデ - タの比較 :
Mirror Smart に使用中の2台のドライブデ - タが、一致しているか確認できます。

1 . はじめのページ



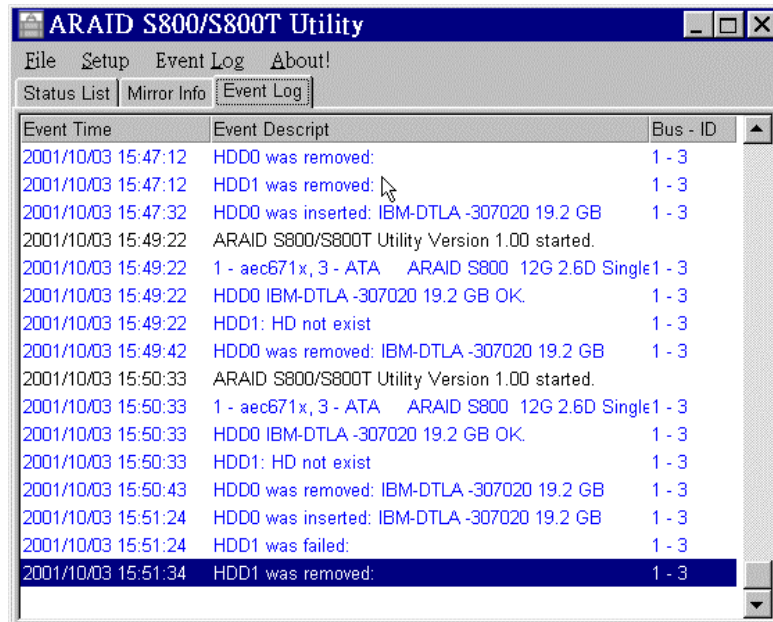
このステ - タスリストはあなたがご使用のコンピュ - タの全ステ - タス(状況)を表示します。これによって、Mirror Smart に生じた状況を簡単に監視することができます。

2 . "Mirror Info"タブシートをクリックもしくはダブルクリックした時



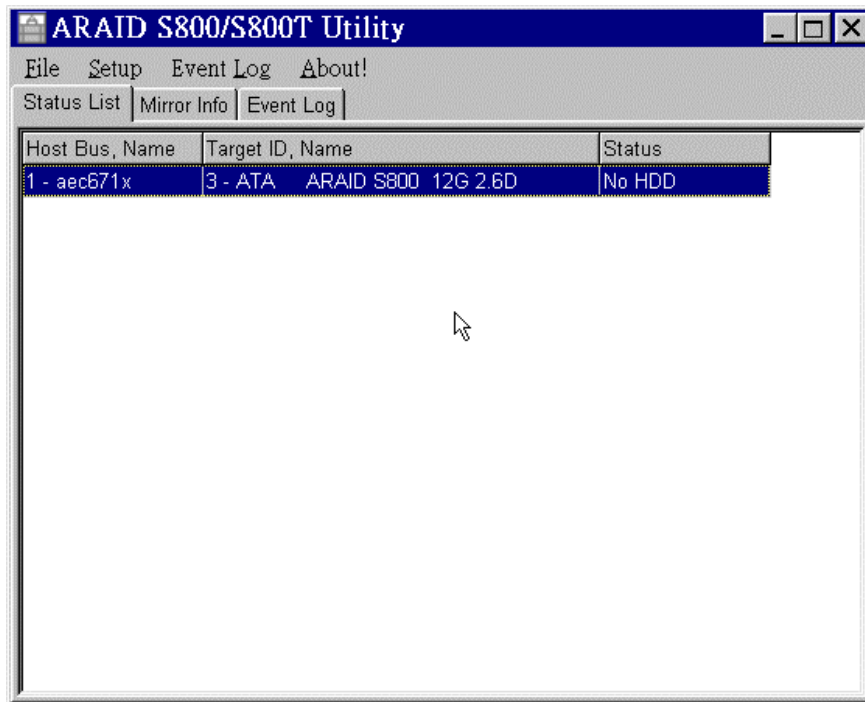
Mirror Smart にインストールされているドライブの位置を“v”で表示している例です。
もし複数台の Mirror Smart を、1 台のコンピュータにインストールする場合、左か右矢印
で表示が表れます。
その他'Compare HDDs' をクリックすると両方のドライブのデータが一致しているか確認
できます。

3 . イベントログ



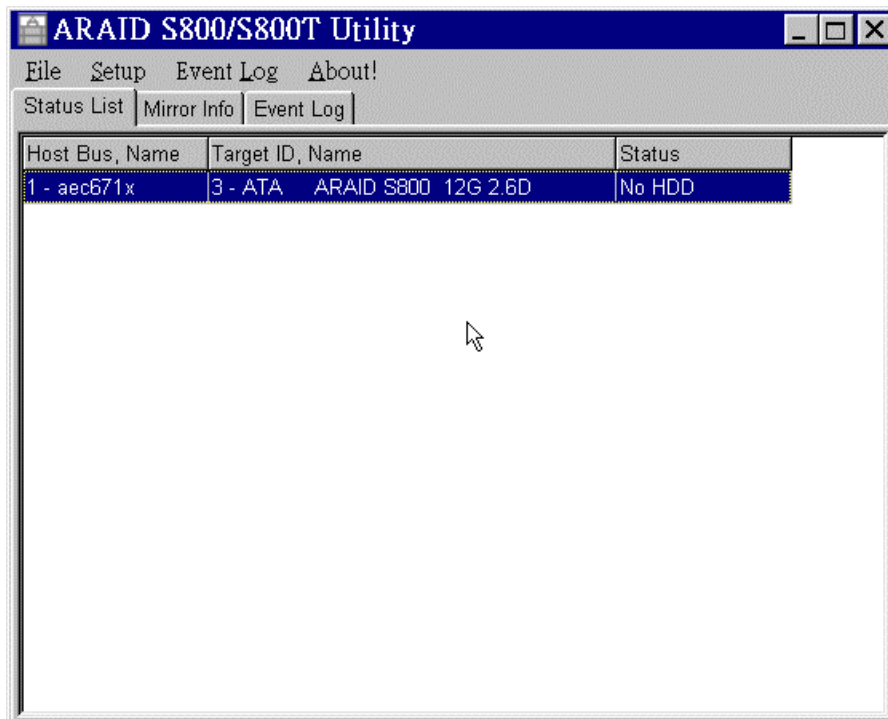
このイベントログは以下のような状況を記録します。
Mirror Smart ユーティリティを開始 / 停止した
ファンもしくはドライブのエラ - 発生時
リビルドと比較情報
ファ - ムウエアを更新した時
ミラ - サイズの変更をした時
Mirror Smart の設定を変更した時

4 . エラーの発生時



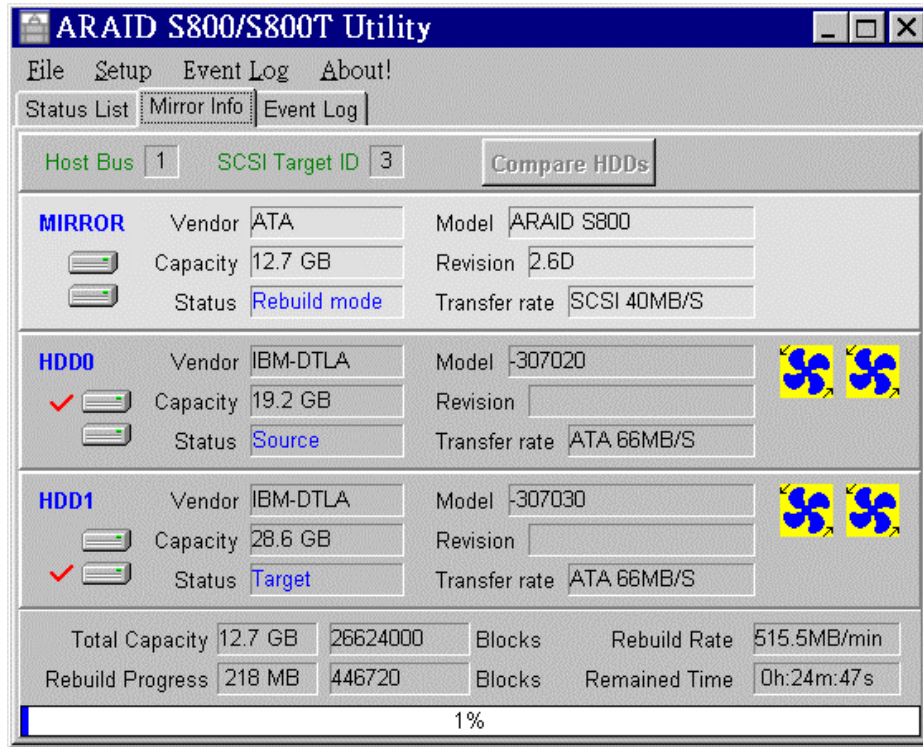
エラーが発生した時は、そのエラーのところへのカーソルが移動します。

5 . エラーの詳細



エラーの情報はステータス欄に表示されます。

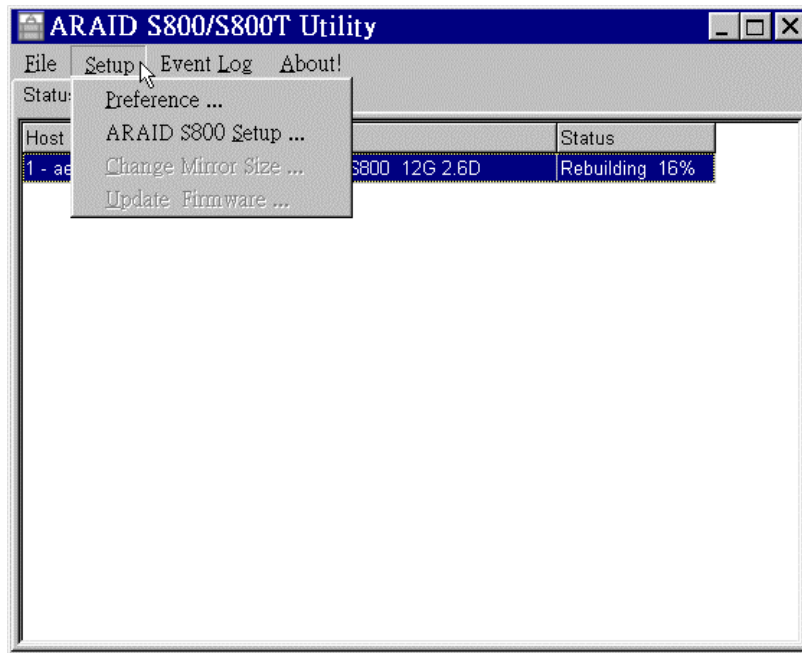
6. ホットスワップ後、Mirror Smart は新しいドライブに自動的に全ての内容をリビルドします。手動操作やその他の一切の作業を必要としません。



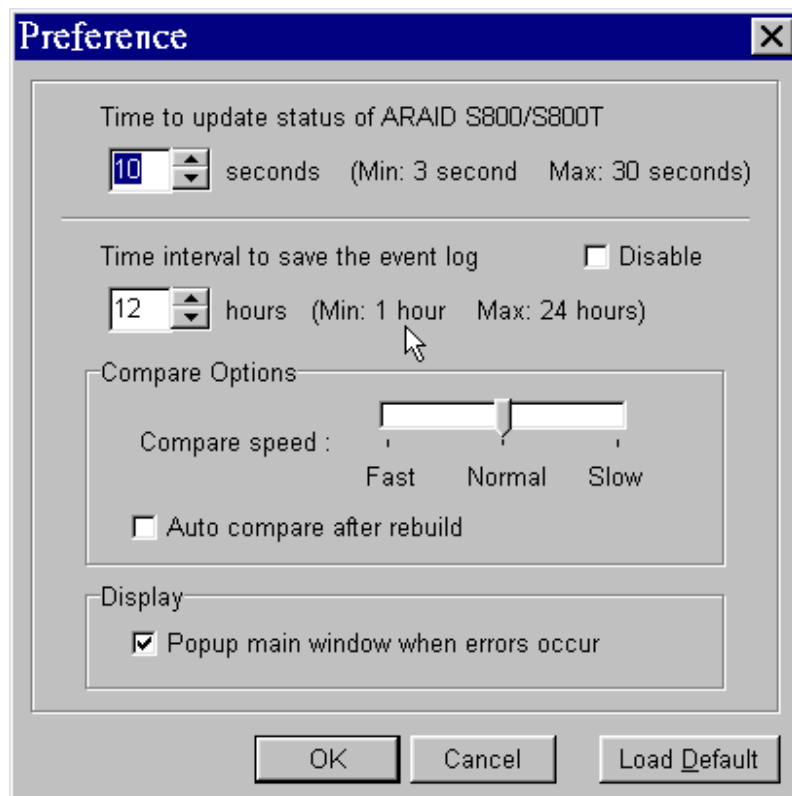
Mirror Smart は (どちらかの) 2 台目のドライブが入れられた時、自動でリビルドを開始します。

このリビルドパネルにはリビルドのレ - トとリビルドの残り時間が表示されます。

7 . Mirror Smart 設定メニュー

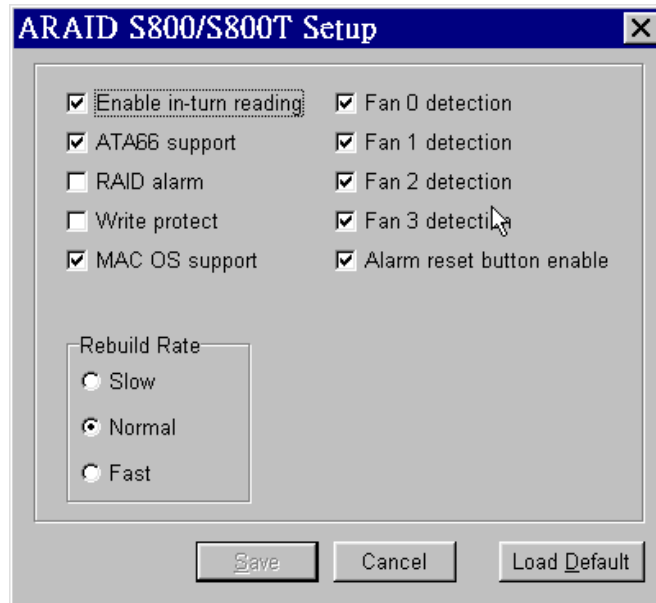


1 . 参照



エラー表示 : もし Mirror Smart ユーティリティーが最小にされている時にエラーが発生したら、プログラムウィンドウをもう一度ポップアップして下さい。

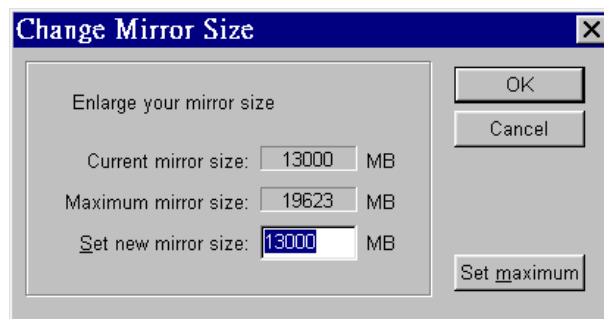
8 . Mirror Smart 設定メニュー



両方のドライブから読む：もしチェックされていたら、システムは HDD 0 と HDD 1 の両方からデータを読みます。

もしチェックされていなければ、システムは常に HDD 0 からデータを読みます。

9 . ミラーサイズの変更



Mirror Smart コ - ティリティは、自動で両ドライブの容量をチェックし、推奨可能な最大のミラ - サイズを決定できます。

もし、既に使用中のミラ - サイズが最大容量に設定されていなかったら、このダイアログウインドウが表示され、推奨可能な最大容量を新しいミラ - のサイズとして拡張することができます。

この操作は、以下の 2 つの方法があります。

- 1 . 右下の "Set maximum" をクリックして、推奨可能な最大のミラ - サイズにする。
- 2 . "set new mirror size" 欄に新しい容量を数値で入力する。

注意：もしご使用の Mirror Smart のミラ - サイズがすでに最大に設定されていたら、このダイアログウインドウは表示されません。

付録4 テクニカルサポートフォーム

本装置のトラブルにあたり、メーカーもしくは販売代理店のサポートが必要なときは、以下のフォームに必要事項を記入の上、お問い合わせ下さい。

モデル(Model)	Mirror Smart	
ファームウェアバージョン (F/W Version)		
メインボードの製造会社名 (Main Board Vendor)		
BIOS のバージョン(BIOS Version)		
SCSI アダプタ名(SCSI Adapter)		
CPU のタイプ名(Chipset)		
メモリサイズ(Memory)		
グラフィックカード名 (Display Card)		
その他の I/O カード名 (Other I/O Card)		
オペレーティングシステムのバージョン (OS Version)		
ハードディスク(Hard Disk)		
構成の状態(Configuration)		
ドライブのモデル・型式 (Hard Disk Model/Type)	1.	2.
ドライブの容量(Capacity)	1.	2.
ファームウェアのバージョン (Firmware Version)	1.	2.
IDE の接続機器・1/2 の別 (IDE Device Connect)		
CD-ROM モデル名(CD-ROM Model)		
CD-R モデル名(CD-R Model)		
MO やその他リムーバブル型装置 (MO or Removable)		
その他の HDD(HDD)		
その他(Others)		
Problem Description		

